

令和5年度第2回地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会 議事録

日 時	令和5年8月3日(木) 10:30~10:50
場 所	オンライン会議(事務局:福岡市役所 第3特別会議室)
出席者	<p>福岡市医師会 副会長 松浦 弘</p> <p>独立行政法人国立病院機構 九州がんセンター 院長 藤 也 寸志</p> <p>九州大学大学院医学研究院 准教授 福田 治久</p> <p>公認会計士 行正 晴實</p>
	<p>事務局 福岡市保健医療局長、同理事、同総務企画部長、同病院事業課長</p>
	<p>病院機構 理事長、副理事長、運営本部長、法人運営課長、 福岡市立こども病院 院長、事務部長、同看護部長、同総務課長、同経営企画課長、同 医事課長 福岡市民病院 事務部長、同看護部長、同総務課長、同医事課長</p>
次 第	<p>1 開会</p> <p>2 議事 (1) 令和4年度業務実績評価について</p> <p>3 その他</p>
配付資料	<p>資料1 地方独立行政法人福岡市立病院機構 令和4年度の業務実績に関する評価結果報告(案)</p> <p>参考資料1 地方独立行政法人福岡市立病院機構 業務実績評価の方針</p> <p>参考資料2 地方独立行政法人福岡市立病院機構 年度業務実績評価実施要領</p> <p>参考資料3 地方独立行政法人福岡市立病院機構 令和4年度の業務実績に関する評価結果(案)まとめ</p>

(1) 令和4年度業務実績について

○事務局

【資料1について説明】

○委員長

令和4年度業務実績に対する市の評価案について、委員の皆様からご質問やご意見を伺いたいと思います。

○委員

市の評価案に異論はありません。

特に、病院機構の自己評価を上回って評価5とする点について、コロナの対応については、重症者がさほど多くはないとはいえ、両病院は大変多くの患者に対応したことを考えると適当と考えます。また、その他の点についても評価案は適当と考えます。

ただ、コロナへの対応も現在3年目となっている中で、評価を行うに当たり、コロナの影響があることで判断基準が少しあいまいになってしまうところがありますので、今後の計画の作成や評価の実施にあたって、少しずつでも客観性を上げられるよう、努力をしていく必要があると考えています。

○委員

市の評価案に異論はありません。

特に評価5とする項目については丁寧に確認させていただきました。

まず、こども病院についてですが、「災害・感染症等への適切な対応」の項目における指標は訓練開催数や災害時参集訓練参加率となっておりますが、中期計画においては中核的な小児総合医療施設として必要な医療の継続が掲げられており、別項目の指標である救急搬送件数は目標に対し160.3%と非常に高い値となっていることから、中期計画の達成という観点からも、評価5とすることは適当と考えます。

市民病院につきましては、同じく救急搬送件数については目標の達成率108.1%と、この指標からは評価5とするには少し弱いかと思いましたが、I C I Cによる情報提供という点を鑑みますと、中期計画において、福岡市における対策の先導的かつ中核的な役割を果たすとしていることから、まさにそれを適切に実践された事例と思われるので、評価について適切であると考えます。

その他の項目についても、市の評価案は適当であると考えます。

○委員

評価結果について申し上げることはありません。

ただ、4ページ、大項目第1の評価につきまして、標準点に対する評価点は辛うじて120%以上となっているとおり、仮に何かの項目の評価が下がると、今年はA評価にならなかった可能性が高いのではないのでしょうか。

特にこの項目につきましては、令和3年度の業績は評価Aの達成基準に対し余裕を持って上回っていましたが、令和4年度の業績はAの基準を辛うじて上回ったものであるということ意識していただきたいと思います。

○委員長

他にご意見ございませんでしょうか。

それでは市の評価結果報告書案につきましては、特段のご意見はないということでよろしいでしょうか。

○各委員

異議なし

○委員長

ありがとうございます。それでは、議事(1)についての審議を終わらせていただきます。

○事務局

これをもちまして、本日の委員会は、終了させていただきます。